

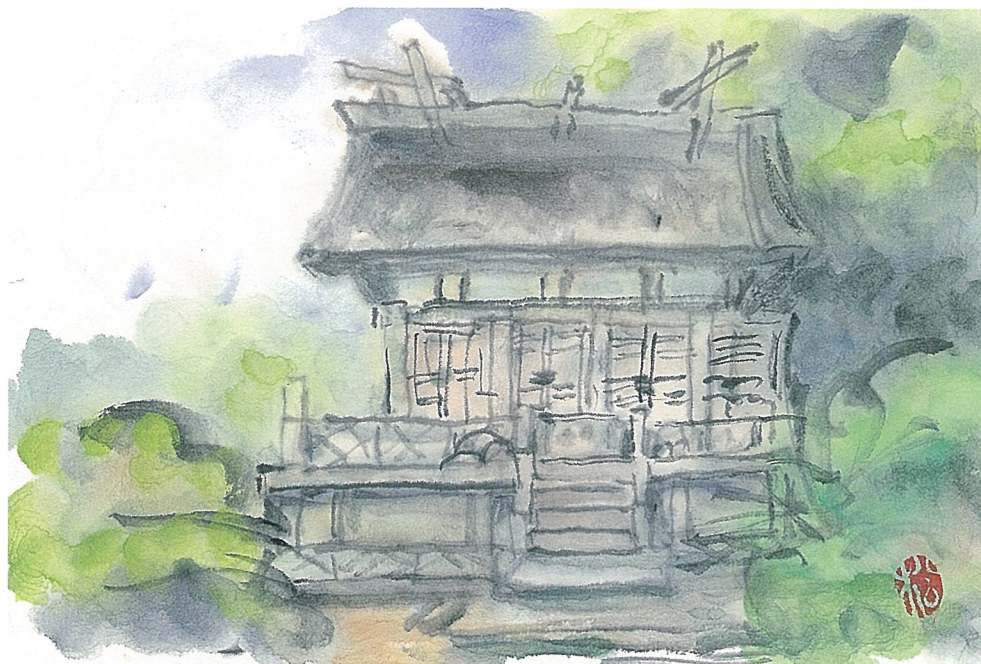
机の妙見さん

(若土)

机集落の山沿いに氏神である妙見^{※みょうけん}さんがある。

妙見社には、妙見菩薩、天王^{てんのう}さん、天満宮^{てんまんぐう}、荒神^{こうじん}さんの四柱の神が祀られている。

三神の合^{※ごうし}祀の時期は定かでないが、地区内の山中、山裾にあった旧社を次々と集めたものである。天王さんは天谷中腹に、天満宮は天神^{てんじん}谷^{だに}下の山裾に、荒神さんは荒神谷の村山にあった。



昭和41年（1966）頃、境内を拡張して広場が整備された。

昭和46年（1971）妙見社の改築が行われ、鉄筋コンクリート造りの社殿が完成した。

境内の広場には、遊具も備わり、遊園地、スポーツ広場として利用されている。

特に若土集落は度重なる小鴨川の氾濫による洪水とのたたかいがあり、神仏への信仰心も強く小社でも大切にすることがわかる。

(注)

妙見菩薩：北極星を神格化した菩薩で国土を守り、人の福寿を増すという。

合祀：複数の神をひとつの社に合^{まっ}わせ祀ること。